

下関の港と海の情報誌

しものせき Port News

2020
spring

令和2年3月
Vol.14

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

Contents

西山地区工事の進捗

西山地区の状況

エプロンひび割れのメカニズムと対策

老朽化対策

トピックス

インターンシップ生を受入れました。

水上交通の実証実験を行いました。

西山地区（彦島）岸壁補修前（平成24年3月撮影）



西山地区（彦島）岸壁補修工事实施中（令和2年3月撮影）

下関港湾事務所に関する主な出来事や話題をお届けします。

工事の進捗 西山地区の状況



西山地区(彦島)の岸壁は、昭和62年(1987年)に整備され原木の輸入拠点や製材の拠点としての利用を行っていました。

近年は、岸壁の老朽化に伴いエプロンがひび割れ・陥没し、貨物の荷役が難しい状況にあり、平成26年から利用制限を行いながら老朽化対策の工事を実施しています。

令和2年3月に延長約240mのうち、半分の120mの補修が完了しました。



【岸壁の利用状況】



【エプロンのひび割れの状況】

エプロン：船の貨物を荷役するための用地。
荷役機械や重量物が一時的に置かれる。

エプロンひび割れのメカニズムと対策

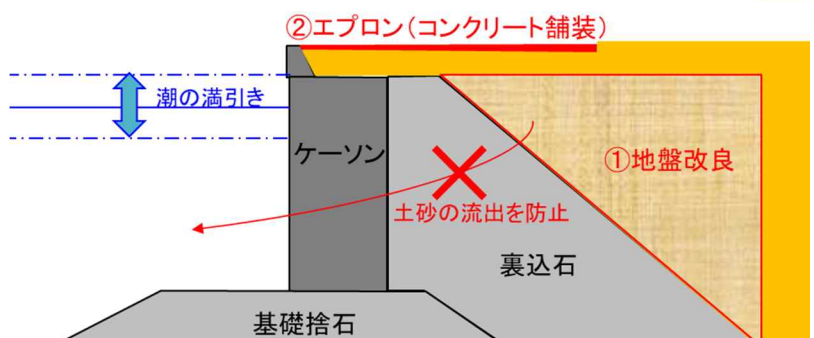
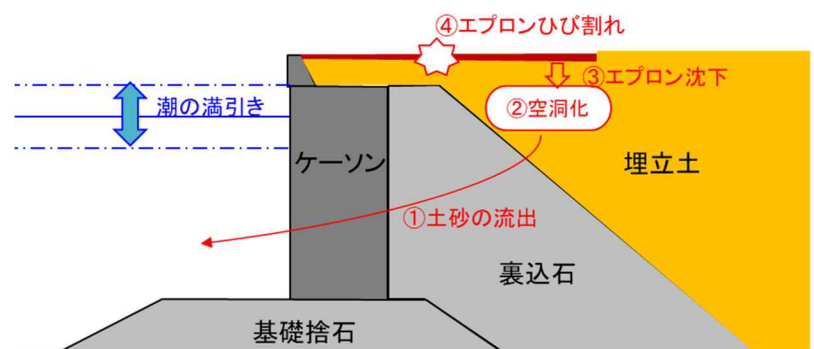
【メカニズム】

エプロンのひび割れの原因を調査したところ、エプロン直下に空洞が見られ、それに追従するようにエプロンに亀裂が入っていました。

これは、エプロン直下の土砂が潮の満ち引きに伴いケーソンとケーソンの間のわずかな隙間から長年にわたり徐々に土砂が海へ流出されることが原因となっていました。

【対策】

地盤改良により埋立土を固めることにより土砂の流出を防ぐとともに、ひび割れたエプロンを補修します。



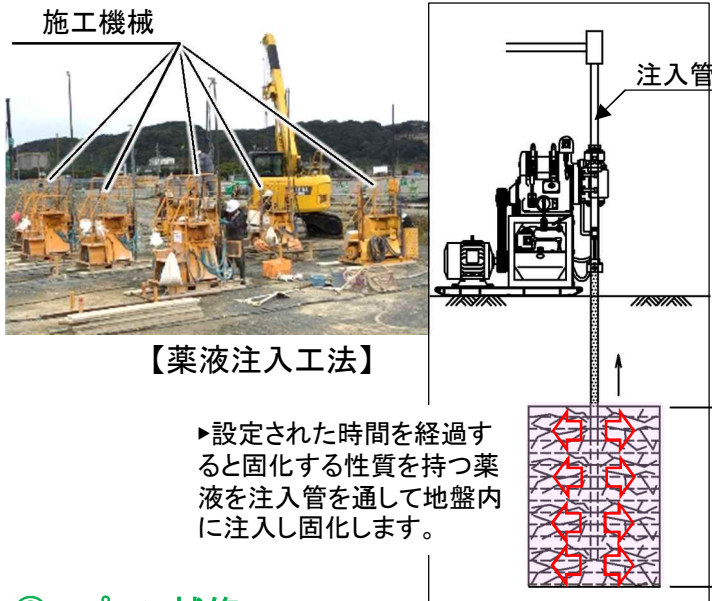
老朽化対策

①地盤改良

埋立土砂を固化するため、土砂の性質に応じた工法により施工しています。

【薬液注入工法】

埋立土砂に薬液を注入し固化させ、土砂の流出を防ぎます。



【深層混合処理】

埋立土砂をセメント系固化剤により固化させ、土砂の流出を防ぎます。



②エプロン補修

地盤改良後に、舗装機械(3種類)を使いコンクリートによりエプロンを施工します。

搬入・荷下ろし
(10tダンプトラック)

敷均し
(スプレッダ)

振動・仕上げ
(コンクリートフィニッシャ)

最終仕上げ
(レベラ)



ダンプトラックから下ろされたコンクリートの山を平らにします。



振動を加えながら、コンクリート中の空隙を除去します(表面は粗い状態)。



規定の高さになるように表面の仕上げを行います。

利用者の声

【下関海陸運送(株) 辻井部長のコメント】

弊社は、長年、下関港を利用させていただいており、西山地区においても、従前より木材等の取扱いをしているところです。今回の工事により岸壁がリニューアルされ、これまでより安全かつ効率的に荷役作業ができることに感謝します。

弊社としても、これからも港での活動を通じて下関港の発展に寄与していきたいと考えています。



【辻井部長】

トピックス

インターンシップ生を受入れました。

令和2年2月12日～14日、山口県立下関工科高等学校建設工学科1年生2名を受け入れ、当事務所が進めている下関港、下関港海岸の工事現場見学等の見学や体験を通じて、必要な技術、知識を学んでもらいました。

最終日には、今回のインターンシップで学んだことを発表し、生徒からは「ケーソンの大きさに驚いた。」「将来は国土交通省の仕事に就きたい。」などの感想が述べられました。

私達が普段知らず知らずの内に守られているということを改めて感じる事ができました。

三日間、多くの工事現場や港を見学へ行かせて頂いて、その中で一番印象に残ったのは長州出島でした。大きな荷物や重たい荷物などどうやって船に乗せるのか知らなかったので、初めてガントリークレーンを見たときは驚きました。

【インターンシップ生からの感想文より】



【環境調査を体験】



【クルーズ拠点の岸壁工事を見学】



【海上から港を見学】

水上交通実証実験を実施しました。

令和元年9月、10月長州出島に寄港したクルーズ船の旅客や乗組員を対象に、小型旅客船を利用した実証実験を行いました。

実証実験では、長州出島から唐戸～門司港～小倉の移動を小型旅客船で行い、下関漁港閘門通過(世界最小のパナマ運河式閘門)や関門海峡の景色などを海上から楽しんでいただきました。

新たな交通手段や観光手段の一つとして、今後も水上交通の活用を検討して行く予定です。



【下関漁港閘門を通航】



【関門海峡を通航】



【下関漁港を通航】



国土交通省 九州地方整備局
下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30～12:00と13:00～17:00(土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

